

- ・ 9月22日: 「iPhone」や「iPad」に3件のゼロデイ脆弱性 - アップデートを公開
- ・ 9月20日: 米当局、脆弱性の悪用について警戒呼びかけ - 1週間で13件
- ・ 9月19日: トレンドの法人向けセキュリティ製品に脆弱性 - すでに悪用済み
- ・ 9月19日: **QNAP製NASに複数の脆弱性 - 修正版以降へ更新を**
- ・ 9月19日: **サーバに不正アクセス、個人情報10万件超が流出の可能性 - マツダ**
- ・ 9月15日: 北米法人で情報流出を確認、ランサム影響か - アルプスアルパイン
- ・ 9月15日: **Palo Alto Networksの「PAN-OS」や「Cortex XDR」に脆弱性**
- ・ 9月15日: 「Splunk Enterprise」に複数の脆弱性 - アップデートで修正
- ・ 9月14日: Array Networks製VPN機器、標的型攻撃の対象に - 侵害状況の確認を
- ・ 9月14日: **Fortinet、「FortiOS」など複数製品の脆弱性を修正**
- ・ 9月14日: **ビデオ会議サービス「Zoom」のクライアントなどに脆弱性**
- ・ 9月13日: 一部サーバにランサム攻撃、生産や出荷に影響 - アルプスアルパイン
- ・ 9月13日: **Ciscoセキュリティ製品のVPN機能にゼロデイ脆弱性 - ランサムの標的に**
- ・ 9月13日: 「Adobe Acrobat/Reader」にゼロデイ脆弱性 - 早急にアップデートを
- ・ 9月13日: MS、9月の月例パッチを公開 - ゼロデイ脆弱性にも対応
- ・ 9月12日: 「iOS 15」や旧世代macOSにアップデート - ゼロデイ脆弱性対応で
- ・ 9月07日: 「Citrix ADC」への攻撃、米当局があらたな手口を公開
- ・ 9月07日: 「Apache RocketMQ」に対する攻撃が発生 - 米当局が注意喚起
- ・ 9月06日: 「Chrome」にセキュリティアップデート - 脆弱性4件を修正



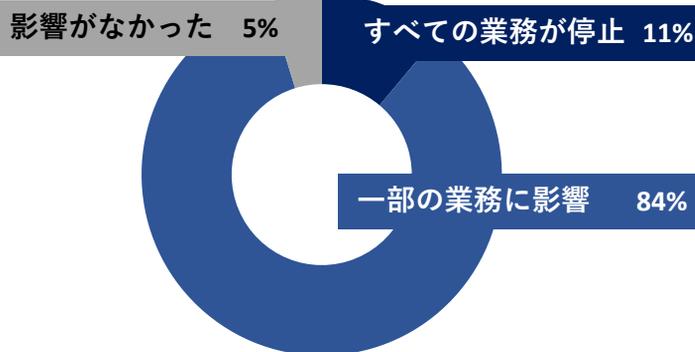
PICKUP!

サイバー攻撃「ランサムウェア」被害企業の9割「業務に影響」 警察庁調べ

※出典:警察庁サイバー空間をめぐる脅威の情勢等
https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/R05_kami_cyber_jousei.pdf

企業・団体等におけるランサムウェア被害及びその実態

ランサムウェア被害が業務に与えた影響



被害企業の95%は業務に影響...

ランサムウェアに新たな手口を確認

9月21日、警察庁は、「令和5年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」を発表しました。

データを勝手に暗号化して、身代金を要求する「ランサムウェア」と呼ばれるサイバー攻撃の被害が、ことしも全国で相次いでいて、被害に遭った企業などのうち**9割以上で業務への影響が出ている**ことが警察庁の調べで分かりました。**新たな手口も確認**されていて、警察庁は、**セキュリティの強化**を呼びかけています。



暗号化しないまま情報を盗み出し、金銭要求！ 新たなランサム「ノーウェアランサム」の脅威

警察庁が新たに「ノーウェアランサム」と名付けた攻撃は、暗号化をしないまま情報を盗み出し、金銭を要求する手口とのことです。システムに侵入してデータを盗み、「公開する」と脅して金品を要求する新型のサイバー攻撃が今年上半期（1～6月）に国内で6件確認されました。身代金要求型ウイルス「ランサムウェア」と異なり、データを暗号化しないのが特徴で、警察庁が警戒を強めています。



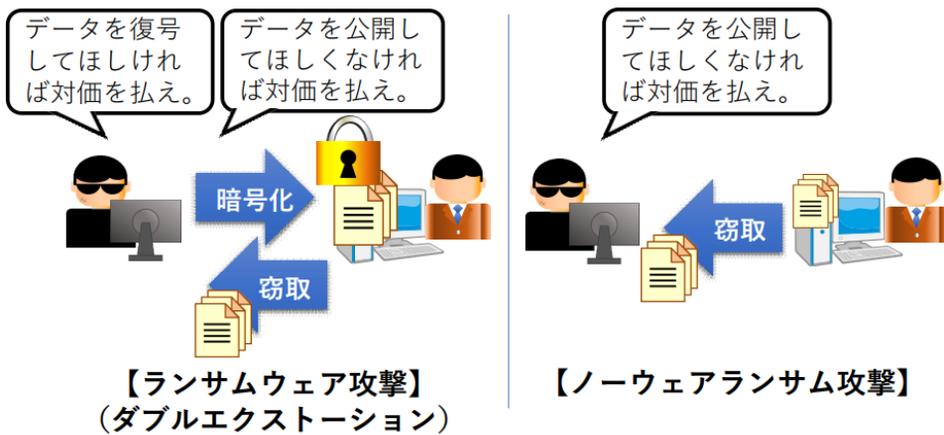
ランサムウェア「ノーウェアランサム」とは

攻撃者にとって効率的な攻撃

図：ノーウェアランサム

ノーウェアランサム攻撃は、暗号化が生じず通常より脅威度の低い攻撃に見えます。しかし、攻撃者の視点では余分な処理が生じず手軽であるうえ、情報を人質にした脅迫は可能であり、個人情報や機密情報を人質にした要求行為は可能です。

【図表2：攻撃の流れ（左：ランサムウェア攻撃、右：ノーウェアランサム攻撃）】



出典：警察庁資料 警察庁サイバー空間をめぐる脅威の情勢等 トピック3「ノーウェアランサム」引用



ランサムウェアの主な感染経路は、**VPN**や**リモートデスクトップ**であり、
改めてセキュリティの見直しを！

